

文学部 認定心理士受験資格

哲学科教育学専攻教育心理学コース生及び臨床心理学科生のみが取得可能

認定心理士受験資格 (資格認定機関：社団法人日本心理学会)					
基礎条件：					
1) 心理学専攻、教育心理学専攻または心理学関連専攻の学科において規定の単位を修得卒業した者（本学文学部では哲学科教育学専攻の教育臨床心理学コース（2011年度以前入学生）・教育心理学コース（2012年度以降入学生、臨床心理学科が心理学関連専攻の学科に該当します）。 2) 実験及び実習に係わる科目を除き、卒業後の科目等履修でも修得可です。 3) 資格認定申請時に基礎科目のBとCに関しては「シラバス」のコピーの添付が必要となります。B・C以外についても「シラバス」の提出を求められることがあるため、履修科目の「シラバス」および「履修要項」は、卒業後も保管しておかなければなりません。2007年度以降の「シラバス」は大学ホームページからダウンロードできます。					
学会規定	文学部履修規定				
	開設科目名	単位数	年次指定	開講学舎	履修方法
1) 基礎科目 A (4 単位), B (4 単位), C (3 単位) 以上合計 12 単位以上 A. 心理学概論	〈専攻科目〉 ★※心理学概論 ※心理学概論 A 注) ※心理学概論 B 注) 〈教養教育科目〉 心理学 心の科学 A 心の科学 B	4 2 2 4 2 2	— 1 年次以上 1 年次以上 1 年次以上 1 年次以上 1 年次以上	— 深草 深草 深草 深草 深草	4 単位以上 選択必修
B. 心理学研究法	〈専攻科目〉 ※心理学研究法 教育心理学研究法 ※心理調査・統計法 A ※心理調査・統計法 B	4 4 2 2	3 年次以上 3 年次以上 3 年次以上 3 年次以上	大宮 大宮 大宮 大宮	4 単位以上 選択必修
C. 心理学実習・実験	〈専攻科目〉 ★※心理学実験実習 ★※心理学 (実験実習) ※心理学 (実験実習) I ※心理学 (実験実習) II ※心理学実験 A (教育学専攻のみ履修可) ※心理学実験 B (教育学専攻のみ履修可) ★臨床心理学実習 臨床心理学 (実習) 臨床心理査定 (実習) 対人援助学 (実習)	2 1 1 1 1 1 2 2 1 1	— — 3 年次以上 3 年次以上 3 年次以上 3 年次以上 — 3 年次以上 3 年次以上 3 年次以上	— — 大宮 大宮 大宮 大宮 — 大宮 大宮 大宮	4 単位 必修
2) 選択科目 D~H の 5 領域のうち 3 領域以上で各領域 4 単位以上合計 16 単位以上					D~H の内 3 領域以上から各 4 単位以上、計 16

D. 知覚心理学・学習心理学	〈専攻科目〉				単位以上選択必修
	★※学習心理学	4	—	—	
	※学習心理学	2	3年次以上	大宮	
	★※認知心理学	4	—	—	
	※認知心理学A	2	3年次以上	大宮	
E. 教育心理学・発達心理学	〈専攻科目〉				
	※教育心理学	4	2年次以上	両学舎	
	★※発達心理学I	2	—	—	
	★※発達心理学II	2	—	—	
	★障害児教育方法学	2	—	—	
	障害児・者心理学	2	2年次以上	深草	
	発達心理学概論	2	1年次以上	深草	
	〈教養教育科目〉				
	発達と教育A(～14生)	2	2年次以上	深草	
	発達と教育B(～14生)	2	2年次以上	深草	
	学習・発達論A(15生～)	2	2年次以上	深草	
	学習・発達論B(15生～)	2	2年次以上	深草	
F. 比較心理学・生理心理学	〈専攻科目〉				
	★※生理心理学	4	—	—	
	※生理心理学A 注)	2	1年次以上	深草	
G. 人格心理学・臨床心理学	〈専攻科目〉				
	★※臨床心理学	4	—	—	
	★※人格心理学	4	—	—	
H. 社会心理学・産業心理学	※パーソナリティ心理学A	2	3年次以上	大宮	
	※パーソナリティ心理学B	2	3年次以上	大宮	
	臨床心理学概論A	2	1年次以上	深草	
	臨床心理学概論B	2	1年次以上	深草	
	〈専攻科目〉				
3) その他の科目 8単位以上 卒業論文は4単位まで認定 されます	★※社会心理学	4	—	—	その他の科目 及びA～Hから 8単位以上 合計36単位以上
	※社会心理学A	2	3年次以上	大宮	
	※社会心理学B	2	3年次以上	大宮	
	★卒業論文(教育心理学演 習IIを含む)	8	—	—	
	卒業論文	4	4年次	大宮	
〈教養教育科目〉					
応用心理学A	2	2年次以上	深草		
応用心理学B	2	2年次以上	深草		

- 1) 上記の表はモデルケースです。また、上記の科目はシラバスの内容が年度によって変わることもあり、シラバスの内容によっては認定されないこともあります。したがって、申請にあたっては本人が直接学会から『資格申請の手引き』を取り寄せ、内容を確認の上申請しなければなりません。
- 2) A～Hで※印の科目は「基本主題」を、無印の科目は「副次主題」を意味します。学会規定の4(C領域は

- 3) 単位のうち、最低 2 単位は「基本主題」から修得しなければなりません。残りの 1 単位分は「副次主題」でもよいのですが、これらの科目は開講単位の 2 分の 1 しか認められませんので、申請に必要な学会規定の単位数の算定に注意してください。判定はすべて学会が行います（開講科目や単位数がそのまま認定されるとは限らない）ので、各領域の主題ごとにできるだけ余裕のある単位数を取得して申請することが望ましいです。
- 3) 卒業論文については心理学に関連したテーマと内容が要求されます。
- 4) A～H で学会規定の総計 36 単位以上修得している場合は、「その他の科目」を充たす必要はありません。
注) 心理学概論、生理心理学はそれぞれ A,B の 4 単位を修得してはじめて基本主題の単位となります。
- 5) ★印の科目は現在開講されていません。

注 1) 心理学概論、生理心理学はそれぞれ A,B の 4 単位を修得してはじめて基本主題の単位となります。

注 2) 履修方法欄の修得単位数は副次主題科目の単位を 2 分の 1 にした状態での合計単位数となります。

注 3) 「心理学 (実験実習) I」と「心理学 (実験実習) II」は同一学期に同時登録をしなければなりません。

なお、どちらか一方の科目のみの登録はできません。

ただし、以下の場合には「心理学 (実験実習) II」のみの受講を認めます。

- ・2014 年度に「心理学実験 A」または「心理学 (実験実習)」の単位を修得した者で「心理学 (実験実習) II」を未受講または不合格となった者。